

事業所名	株式会社 アイセル	
担当者	加茂 しのぶ	連絡先 078-928-1379

目標1 ソジー(性の多様性)を正しく理解し、尊重する(全1項目)

✓	項目	内容	具体的な取組・添付資料等
✓	I (a)・(b) どちらか を選ぶ	《研修の実施》 (a) すべての働く人が、明石市の「ソジトモ講座」を修了する。	2023年2月に全社員・管理職について「ソジトモ講座」視聴済み。担当者については、管理職向け講座を視聴済み。全社員に対し年1回以上 LGBTQ+/SOGIE についての資料配布または動画視聴を行っている。総務部に関しては明石市主催 LGBTQ+/SOGIE 企業セミナーに積極的に参加している。
✓		(b) 働く人のうち、管理職や採用担当が明石市の「ソジトモ講座」を修了し、かつ、今後すべての働く人が終了できるよう、研修実施計画書を作成している。 (研修実施計画書の提出が必要です)	

目標2 働く人の環境を整える(全10項目)

✓	項目	内容	具体的な取組・添付資料等
✓	2-①	《アウトティングの防止》 ソジハラのない職場環境が整えられていることを働く人に公開し、カミングアウトの範囲を守り、アウトティング(本人の同意なくソジーを暴露すること)の防止に努めている。	担当者については、LGBTQ+当事者の講演会に参加し、適正な対応について理解を深めるよう努力している。
✓	2-②	《カスタマーハラスメントへの対応》 カスタマーハラスメント対策への取組姿勢を明らかにしており、その基本方針にソジハラ的事项が含まれている。	経営理念に「会社と会社を支える人の共存共栄を目指します。」と唱っている。
✓	2-③	《相談窓口の設置》 (a) 働く人に向けた、ソジー(ソジハラを含む)に関する相談窓口を設置している。	社員からの相談は、総務部がメールにて受け付け、対応。
✓	(a)・(b) どちらか を選ぶ	(b) 働く人からのソジーに関する相談に対し、「明石にじいろ相談」を活用して課題解決を目指す姿勢である。	社内で対応が難しい事案には、「明石にじいろ相談」と連携し、解決できるよう努力する。

✓	2-④	<p>《通称使用等》</p> <p>通称の使用が可能など、性別の扱いを、希望する性とする取り扱いをしている。</p>	入社後、本人に呼び名を確認。社員からの呼び名を統一。メールアドレスに、ビジネスネーム使用可能。
✓	2-⑤	<p>《性別記載》</p> <p>働く人が提出する書類に不要な性別記載欄を設けていない。または「その他」「回答しない」等の男女以外の選択肢の配慮をしている。</p>	社内使用書類については、性別の記載欄は設けていない。
	2-⑥	<p>《施設・設備》</p> <p>トイレや更衣室等の男女別の設備について、男女共用トイレやオールジェンダートイレ、または個室の更衣室など、男女の区別に違和感がある人も利用できるように配慮されている。</p>	
	2-⑦	<p>《福利厚生等》</p> <p>性別適合手術等のための休暇や休職について、他の私傷病と同様の取り扱いをしている。または、休職や勤務形態への配慮等をしている。ホルモン治療時の就業継続サポートを行っている。</p>	
✓	2-⑧	<p>《人事・採用》</p> <p>エントリーシートに性別記載欄を設けていない。または「その他」「回答しない」等の男女以外の選択肢の配慮をしている。</p>	HP エントリーシートには、性別欄に「その他」「回答しない」欄を設けている。
✓	2-⑨	<p>《服装に関すること》</p> <p>制服の色やデザインが、顕著に男女に分けられていない。私服であっても男女にとらわれた規定になっていない。</p>	性別を問わず、ビジネスマナーに添った服装を基本としています。
✓	2-⑩	<p>《福利厚生等/パートナーシップ・ファミリーシップ制度》</p> <p>パートナーシップを形成している従業員に、配偶者やその親族に係る休暇や福利厚生制度を適用している。</p>	公的機関で届出された方については、社内での適用を認めます。就業規則に記載済み。
計			8

目標3 まちや社会に向けた取組を行う（全8項目）

✓	項目	内容	具体的な取組・添付資料等
✓	3-①	<p>《方針の公表》</p> <p>企業、医療機関、教育機関等として、「どんなソジー（SOGIE）の人も尊重する」方針を明らかにし、組織内の掲示板、ホームページ等で公開している。</p>	社内向け教育を実施した旨をHPに掲載。社内にソジトモグッズなどを設置。名刺にソジトモカンパニーのロゴ掲載
✓	3-②	<p>《受付・窓口における取組/対応の心得》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付や窓口での呼び出しの際に、番号を呼ぶ、姓を呼ぶなど、フルネームを呼び出さない工夫をしている。 ・フルネームを復唱する以外の方法で、本人確認を行っている。 ・性別を限定する表現を見直す。 	お客様との会話において「性別を限定する表現を見直す」ことを社内で周知する。

3-③	<p>《受付・窓口における取組/多様な性を想定した書式》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申込用紙、アンケートなどに不要な性別記載欄を設けていない、あるいは「その他」「回答しない」等の男女以外の回答欄を設けている。 ・カップルや家族関係に対して、多様なカップルや家族を想定した記入欄や回答欄を設けている。 	
3-④	<p>《受付・窓口における取組/パートナーシップ・ファミリーシップ制度》</p> <p>「明石市パートナーシップ・ファミリーシップ制度届出受理証明書」を提示された場合は、家族として対応することが周知されている。</p>	
3-⑤	<p>《設備》</p> <p>顧客や来訪者が使用するトイレや更衣室について、男女共用トイレやオールジェンダートイレ、また個室の更衣室など、男女の区別に違和感がある人も利用できるように配慮している。</p>	
3-⑥	<p>《商品開発やサービス提供/ジェンダーにとらわれない》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女の性別にとらわれない商品が開発されている。 ・どんなソジエの人も尊重した商品開発やサービス提供がされている。 	
3-⑦	<p>《商品開発やサービス提供/同性カップルや多様な家族》</p> <p>配偶者やその家族向けの商品やサービスについて、同性カップルや多様な家族も対象にしている。</p>	
3-⑧	<p>《明石にじいろ基金への協力》</p> <p>明石にじいろ基金へ寄付を行っている。</p>	
計		2

ご記入いただいた取組については市のホームページ等で公開させていただきます。(添付資料については公開しません)